

令和 3 年度分	担当課	農林水産課
----------	-----	-------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	農業等の振興
具体的施策	①地域資源を活かした産業振興と創業支援
事業名	泉佐野産（もん）普及促進事業
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】
	泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを基に、6次産業化に資するレシピを商品化し、地場野菜のブランド化と6次産業化の促進を行う。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 農商工連携または6次産業化に取り組む企業・団体・農業者数																																				
		KPI： 5年間で9者へ増加																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>8者</td> <td>8者</td> <td>9者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	7者	7者	7者	8者	8者	9者			実績値	7者						↑		達成度	100%							
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	7者	7者	7者	8者	8者		9者																													
		実績値	7者						↑																													
		達成度	100%																																			
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
		この数値の把握により、市域で生産された農林水産物の販売ルートや販売量の拡大につながる動きが進展し、地産地消の関心の高まりを示す指標となると考えられるため	事業で当市産を使ったメニューを開発し、公表することで市内外の飲食店での活用を促し、さらなる農商工連携を図る。連携はこの5年間で2者の増加を把握しているため目標とした。																																			
		②目標事項：																																				
		KPI：																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値																																				
		実績値																																				
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
令和3年度	評価（C）  改善（A）  委員会意見	【3年度評価】																																				
		担当課評価																																				
【4年度における取り組みなど】																																						
【評価等に対する意見】																																						
委員会評価																																						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	政策推進課（成長戦略室）
基本目標	① 安定した雇用を創出する	
基本的方向	しごとの創生	
具体的施策	②企業誘致	
事業名	企業誘致奨励金事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	市の発展と雇用の増大を図るなど、市民福祉の向上のため、市内に新たに事業所を建設・設置される方（企業）で、一定条件を満たす場合に奨励金を交付する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 企業誘致奨励金交付企業数										
		KPI： 5年後に25社										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	15社	17社	19社	21社	23社	25社	累計	↑		
		実績値	15社									
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		交付企業数が増えることで、事業目的の達成につながる					過去5年で6社の増加（年1.2社）となっており、さらなる上昇値（年2社）を目標とする。					
		②目標事項： 上記企業の新規雇用者数										
		KPI： 5年後に739人										
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値	614人	639人	664人	689人	714人	739人	累計	↑				
実績値	614人											
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
新規雇用者数が増えることで、事業目的の達成につながるため。					過去5年で101人の増加（年20.2人）となっており、さらなる上昇値（年25人）を目標とする。							
③目標事項：												
KPI：												
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課 評価										
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】										
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	政策推進課（成長戦略室）
基本目標	① 安定した雇用を創出する	
基本的方向	官民連携の推進	
具体的施策	②企業誘致	
事業名	地場産品創出支援事業	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	企業と地方と寄附者をつなぐ「#ふるさと納税3.0」を利用して企業から新たな地場産品の提案を受けてクラウドファンディング（ふるさと納税）のプロジェクトを実施する。寄附目標額が達成した場合は正式に誘致し、寄附金を原資に生産拠点の整備費用となる補助金を交付する。そこで生産された地場産品をふるさと納税の返礼品として届けていくという企業誘致の新しいカタチである。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 補助金を交付し、企業誘致が達成した件数									
		KPI： 年間9件									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	9件	9件	9件	9件	9件	単年度計	→	
		実績値	—								
		達成度	—								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		民間企業の新たな投資が対象であり、不安定な要素はあるが令和2年度の実績を根拠とする。					令和2年度に実施しているプロジェクトの中で補助金を交付し、ふるさと納税で返礼品を提供される実績を根拠とする。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課																																		
基本目標	① 安定した雇用を創出する																																			
基本的方向	しごとの創生																																			
具体的施策	③地域産業の競争力強化																																			
事業名	エリアマネジメント活動推進事業																																			
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 泉佐野市の中心市街地の活性化を図るため、中心市街地のエリアマネジメントの推進と、女性等の社会進出のサポートを通じた中心市街地エリアにある遊休不動産の活用、商店街への人が集う仕組みの構築、商店街をはじめとする中心市街地の再生に取り組むもの。																																			
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 遊休不動産を活用して新たに事業開始した件数																																		
		KPI： 5年後に13件（10件の増加）																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>11件</td> <td>13件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>150.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	2件	6件	8件	10件	11件	13件			実績値	3件						累計	↑	達成度	150.0%					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	2件	6件	8件	10件	11件		13件																											
		実績値	3件						累計	↑																										
		達成度	150.0%																																	
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		中心市街地エリアの遊休不動産解消件数が、中心市街地の活性化に直結するものと考えているため	中心市街地エリア内にある遊休不動産で、大幅な改修工事を必要としない物件の件数（132件）のうち、活用できる物件の1割を設定																																	
		②目標事項： 女性等の社会進出支援人数																																		
		KPI： 5年後に150人																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>10人</td> <td>60人</td> <td>80人</td> <td>100人</td> <td>120人</td> <td>150人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	10人	60人	80人	100人	120人	150人			実績値	0人						累計	↑	達成度	0.0%					
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
目標値	10人	60人	80人	100人	120人				150人																											
実績値	0人						累計	↑																												
達成度	0.0%																																			
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
女性等の非労働力人口から労働人口へ移行した人数は、地域経済への貢献度を示す数値と考えているため	単年度の支援（セミナー等の参加など）人数：40人の半数を目標として社会進出支援につなげることを目標に設定																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和3年度	評価（C） 改善（A） 委員会意見	【3年度評価】																																		
		担当課評価																																		
		委員会評価																																		
	【4年度における取り組みなど】																																			
	【評価等に対する意見】																																			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	① 安定した雇用を創出する	
基本的方向	しごとの創生	
具体的施策	④就労支援	
事業名	地域就労支援事業	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労支援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現に向けて支援をする。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数																																				
		KPI： 年間25人																																				
		<table border="1"> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>単年度計</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>14人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>56%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	25人	25人	25人	25人	25人	単年度計	→		実績値	14人								達成度	56%							
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	25人	25人	25人	25人	25人		単年度計	→																												
		実績値	14人																																			
		達成度	56%																																			
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
		就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。	経済情勢の影響が大きいため、一定数確保することを目標とする。																																			
		②目標事項：																																				
		KPI：																																				
		<table border="1"> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																														
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課 評価
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	① 安定した雇用を創出する	
基本的方向	人材還流・人材育成	
具体的施策	④就労支援	
事業名	地域課題解決型就職氷河期世代就労支援事業	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	雇用環境が厳しい時期に就職活動を行い、現在も様々な課題に直面している方々の就業を支援する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 当該事業により就労に結びついた人数（就職氷河期世代に該当する者のみ）									
		KPI： 2年間で15人									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	5人	10人				累計	↑	
		実績値	—								
		達成度	—								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		当該事業の最終目標は、就職氷河期世代に該当する就職困難者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。					2年間、重点的に実施する。初年度は50名程度の事業参加者を対象に、そのうち10%を就労に繋げたい。その後、就労支援の産業分野を拡大し、年間5名の増加を図る。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	① 安定した雇用を創出する	
基本的方向	人材還流・人材育成	
具体的施策	⑤人材育成・雇用機会の拡充	
事業名	外国人受入環境整備事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 市内在住する外国人材の労働環境及び日常生活における多文化共生社会の実現に向けたワンストップ相談窓口の設置、及び人材不足が喫緊の課題となっている業種への優良な外国人材の確保・育成を通じた雇用マッチング、地域社会の交流支援などを実施するもの。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標 事項 ・ 進 捗 状 況	①目標事項： 外国人就労者あっせん数									
		KPI： 5年後に60人									
		現状値(元年度)		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	20人	30人	40人	50人	60人			
		実績値	—						累計	↑	
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		日常生活を安心して営むにおいて、外国人材の雇用を確保できたか判断するに当たっての指標と考えるため					1年間に10人以上のあっせんを目標として事業設計を行っていることより				
		②目標事項： 施設の利用者数									
		KPI： 5年後に750人									
		現状値(元年度)		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	150人	300人	450人	600人	750人			
		実績値	—						累計	↑	
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
外国人材の相談者数は多文化共生社会の実現に向けた課題を早期発見する場所として、外国人材からの拠点の認知度と、外国人材の相談内容を通じて、必要な施策を展開や制度の創設が発掘でき、本事業の目的を達成するのに必要な指標であると考えため					初年度は施設稼働日数の半分を目標としており、その後同数以上の利用者数の増加を目標に事業設計しているため						
③目標事項：											
KPI：											
現状値(元年度)		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】									
		担当課 評価									
	改善 (A)	【4年度における取り組みなど】									
委員会 意見	委員会 評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	都市計画課
----------	-----	-------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	都市魅力の創出・発信
具体的施策	①定住・移住の促進
事業名	住宅総合助成事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	○住宅総合助成事業…本市で自ら居住する住宅を建替える場合や、新築住宅を購入し居住する場合に、町会・自治会に加入する方に泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。 ○空家バンク制度…本市に定住希望する方に対し、登録条件を満たした空家の情報提供をし当該住宅を購入又は賃貸する場合に、町会・自治会加入を条件として、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 住宅総合助成事業による泉佐野ポイントの付与件数									
		KPI： 5年間で800件									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	286件	446件	606件	766件	926件				1,086件
		実績値	286件						累計	↑	
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		本市の定住・移住促進施策である「住宅総合助成制度」は、地域コミュニティの維持強化を促進する町会加入を要件とし、本制度の利用者数が定住・移住者数及び町会加入者数に直結することから、この数値を指標とするもの。					平成27年度から平成31年度の間で新築住宅又は空家バンクに登録された中古住宅を購入し、本市に定住された実績は230件/年となっている。町会加入を条件とし、加入率を5年間の平均で70%（現在58%で、5年後に80%目標）で設定230件/年×70%≒160件/年				
		②目標事項： 空き家バンクに登録された物件数									
		KPI： 5年間で125件									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	115件	140件	165件	190件	215件				240件
		実績値	115件						累計	↑	
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
空家（中古住宅）の利活用を目的とする本制度は、市が空家情報を発信し、売買契約が成立することにより、定住・移住者数の増加に直結することから、当該登録件数を指標とするもの。					泉佐野市空家等対策計画の評価指標において、平成27年度から平成34年度の8年間で200件を設定している。200件/8年=25件/年						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値							累計				
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課																																
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる																																	
基本的方向	観光による交流人口拡充																																	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充																																	
事業名	観光振興事業																																	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 訪日外国人旅行者に対する受入環境整備や地域の伝統文化の継承、市民団体等の主催イベントへの支援、公式キャラクターによるシティプロモーション、広域連携による誘客促進など、関空の対岸という地理的優位性と交通利便性の強みを活かしたエリアの魅力創出あるいは周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化を図ることで、国内外からのさらなる誘客を促進し、観光関連産業の活性化に取り組む。																																	
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 市内の年間延べ宿泊者数 KPI： 5年後に212万人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>189万人</td> <td>106万人</td> <td>161万人</td> <td>200万人</td> <td>206万人</td> <td>212万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>189万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年	4年	5年	6年	7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人	212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	189万人						達成度	100%					
		現状値（元年度）	3年	4年	5年	6年	7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人		212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																							
		実績値	189万人																															
		達成度	100%																															
		KPI設定の根拠 誘客促進施策の結果として、市内の宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	KPI目標数値の積算根拠 観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																															
		②目標事項： 市内の年間外国人延べ宿泊者数 KPI： 5年後に152万人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>80万人</td> <td>64万人</td> <td>107万人</td> <td>140万人</td> <td>146万人</td> <td>152万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>124万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>155.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年	4年	5年	6年	7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人	152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	124万人						達成度	155.0%					
		現状値（元年度）	3年	4年	5年	6年	7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人		152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																							
		実績値	124万人																															
		達成度	155.0%																															
		KPI設定の根拠 訪日外国人旅行者に対する受入環境整備等の施策の効果として、外国人宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	KPI目標数値の積算根拠 観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																															
		③目標事項： 市内観光施設の利用者数 KPI： 5年後に19.3万人/年																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0万人</td> <td>17.8万人</td> <td>18.2万人</td> <td>18.6万人</td> <td>18.9万人</td> <td>19.3万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>18.7万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>93.50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	20.0万人	17.8万人	18.2万人	18.6万人	18.9万人	19.3万人	↑		実績値	18.7万人						達成度	93.50%							
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	20.0万人	17.8万人	18.2万人	18.6万人	18.9万人		19.3万人	↑																										
実績値	18.7万人																																	
達成度	93.50%																																	
KPI設定の根拠 観光案内施設の利用者数の増加が、市域の観光に対する関心の高さやその活性化を示す指標になると考えるため	KPI目標数値の積算根拠 りんくうまち処・泉佐野まち処・泉佐野観光情報センターの利用者数の合計値																																	
評価（C）	【3年度評価】	担当課評価																																
改善（A）	【4年度における取り組みなど】																																	
委員会意見	【評価等に対する意見】	委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性化課
----------	-----	---------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	本事業は、泉州観光プロモーション推進協議会、華やいて大阪・南泉州観光キャパシティ推進協議会、泉州国際観光実行委員会の3団体の発展的解消により平成30年4月1日に新たに設立したDMO「一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー」において、「認知度向上」、「セカンド・ステイネーション」、「体験型観光」の3つのコンセプトのもとに、関西国際空港に近接する立地を活かしたインバウンド客に向けたプロモーションの実施や泉州サイクルルートを活用した地域資源のプロモーション及び近隣府県と連携したサイクリングイベント等を実施し、観光客数及び地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 泉州地域の訪日旅行者数									
		KPI： 令和4年度に420万人									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	277万人	365万人	420万人						
		実績値	392万人						単年度計	↗	
		達成度	141.52%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		本事業は関西空港を利用する訪日旅行者等に泉州9市4町を回遊してもらうことを目的としており、泉州地域の訪日旅行者数が当該目的に対する効果を直接的に図れる指標であるため					主要観光施設の来場者数、モバイル空間統計調査、アンケート調査等のデータにより算出				
		②目標事項： 泉州地域の来訪者満足度(訪日旅行者)									
		KPI： 令和4年度に7ポイント									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	6.3ポイント	6.6ポイント	7.0ポイント						
		実績値	6.5ポイント						単年度計	↗	
		達成度	103.17%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		来訪者満足度の向上により、再訪や友人等への紹介、SNS等での情報発信が見込めることから、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため					来訪者へのアンケート調査により算出				
		③目標事項： 泉州地域の延べ宿泊者数(訪日旅行者)									
		KPI： 令和4年度に180万人									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	119万人	157万人	180万人						
実績値	152万人						単年度計	↗			
達成度	127.73%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
延べ宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、泉州地域の観光関連産業の活性化を示す指標であるため					観光庁の宿泊旅行統計調査、宿泊施設へのアンケート調査等により算出						
④目標事項： 泉州地域の旅行消費額(訪日旅行者)											
KPI： 令和4年度に1,327億円											
	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	888億円	1,152億円	1,327億円								
実績値	1,281億円						単年度計	↗			
達成度	144.26%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
旅行消費額の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、泉州地域の観光関連産業の活性化を示す指標であるため					来訪者へのアンケート調査、クレジットカード等の消費動向調査等により算出						

令和 3 年度分	担当課	まちの活性化課
----------	-----	---------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充	
事業名	関空立国デスティネーション化推進事業	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	関空の対岸という地理的優位性と交通利便性の強みを活かし、夜間帯の消費喚起につながるナイトタイムエコノミーの推進や新たな観光資源の魅力創出等による観光客の目的地化と地域間連携の強化による周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化をはかり、観光ハブ都市の形成を目指す。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 外国人延べ宿泊者数									
		KPI： 令和5年度に158万人									
		現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	105.0万人	129.5万人	143.5万人	158.0万人					
		実績値	124.4万人						単年度計	↗	
		達成度	118.48%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		本事業は訪日外国人旅行者の目的地化を目的としており、外国人延べ宿泊者数の増加が、事業目的に対する効果を直接的に図れる指標であるため					観光庁の宿泊旅行統計調査等のデータにより算出				
		②目標事項： （仮称）りんくう野外文化音楽堂の利用者数									
		KPI： 令和5年度で延べ10,000人以上									
		現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	0人	500人	3,500人	10,000人					
		実績値	0人						累計	↗	
		達成度	—								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		新たな観光資源の魅力創出等による（仮称）りんくう野外文化音楽堂の利用者数の増加が、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため					当該施設を利用して開催されるイベント等の来場者数の合計値により算出				
③目標事項： ガストロノミーツーリズムの利用者数											
KPI： 令和5年度で延べ1,000人以上											
現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	0人	300人	600人	1,000人							
実績値	0人						累計	↗			
達成度	—										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
ガストロノミーを基本概念とする広域フードツーリズム等の利用者数の増加が、連携自治体や周辺地域への人の流れをどれだけつくりあげられたかに直結する数値であり、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため					体験フェアや各地域の食文化が体験できる施設、ツアー等の利用者の合計値により算出						
④目標事項： 消費効果額											
KPI： 令和5年度で延べ17億円以上											
現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	1.00億円	6.60億円	11.20億円	17.00億円							
実績値	1.96億円						累計	↗			
達成度	196.0%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
消費効果額の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標であるため					宿泊料、食事代、施設利用料、フェア参加料等の合計値により算出						

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	「恋人の聖地」観光誘客連携による地域活性化事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 NPO法人地域活性化支援センター「恋人の聖地」プロジェクトに参画する12市町の広域連携により、(1) ICTを活用した恋人の聖地等へ観光誘客するための「来訪旅行者情報共有のためのプラットフォームの整備」(2) 恋人の聖地の魅力増進及び周辺領域へのブランドの波及(3) 恋人の聖地観光誘客の共同プロモーションを実施し、自立的な『全国規模の回遊促進の実現と、各地域の観光消費拡大と国の観光事業の推進』への寄与を目指す。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： プラットフォーム登録旅行者数									
		KPI： 令和4年度で259,200人									
		現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	—	129,600人	259,200人						
		実績値	—					累計	↑		
		達成度	—								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
		プラットフォーム登録旅行者数の増加が、地域における観光情報の充実度、満足度に比例すると考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため				新たに開発したアプリ(プラットフォーム)の登録者数の合計値により算出					
		②目標事項： 協力事業者拠点件数									
		KPI： 令和4年度で360件									
		現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	—	240件	360件						
		実績値	—					累計	↑		
		達成度	—								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
協力事業者拠点件数の増加が、旅行者との直接接点の増加につながり、プラットフォーム登録旅行者数に比例すると考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため				連携自治体における協力店舗、施設、観光スポット、イベント開拓数の合計値により算出							
③目標事項： 旅行者満足度指数											
KPI： 令和4年度で30.0%以上											
現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値	—	26.0%	30.0%								
実績値	—					単年度計	↑				
達成度	—										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
旅行者満足度指数の向上が、リピーターや新規顧客の獲得につながるものと考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため				アプリ等のアンケート調査により算出							
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】 担当課 評価									
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価									

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	政策推進課（成長戦略室）
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	③MICE誘致の推進	
事業名	地方版MICE誘致推進事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	国際空港の玄関都市という好立地を活用した地方版MICEの誘致に向け、課題等を抽出し、効果的なMICE誘致に取り組む。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 誘致活動に伴うMICE誘致成功件数									
		KPI： 年間3件									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	3件	3件	3件	3件	3件	3件	単年度計	→	宿泊を伴う100人以上の規模
		実績値	3件								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		市内でMICEが開催されることで、地域経済の活性化及び都市ブランドの確立につながるため。					R1年度誘致成功件数（3件）と同伴数				
		②目標事項： MICE開催時における市内宿泊施設への延べ宿泊参加者数									
		KPI： 年間8,000人（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）									
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	2,226人	6,000人	6,000人	7,000人	8,000人	8,000人	単年度計	↗			
実績値	2,226人										
達成度	100%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
MICE参加者に市内での宿泊を推進し、宿泊者が増加することで、地域経済の活性化につながるため。					年間延べ1万人のMICE参加者の誘致を目指し、うち8割（8,000人）の宿泊を目標値とする（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値							単年度計				
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】	担当課 評価
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】	
	委員会意見	【評価等に対する意見】	委員会 評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	政策推進課（成長戦略室）
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	関係人口の創出・拡大	
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化	
事業名	ふるさと応援寄附金事業	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	ふるさと納税制度の取り組みに基づき全国の寄附者と繋がりを図ることにより、地元特産品のPR、販売促進や観光誘致につなげることで、地元企業・地域の活性化をめざします。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： ふるさと応援寄附金寄附件数																																													
		KPI： 年間240,000件																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">→</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件			実績値	—						単年度計	→	達成度	—							
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																																					
		目標値	—	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件				240,000件																																				
		実績値	—						単年度計	→																																					
		達成度	—																																												
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠																																								
		市外住民の寄附行為が対象であり、不安定な要素はあるが寄附件数の実績を根拠とする。					新制度のふるさと納税受入れ受入れ開始（令和2年7月）から令和2年12月末までの実績である120,000件の2倍を積算根拠とする。																																								
		②目標事項：																																													
		KPI：																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																																					
		目標値																																													
		実績値																																													
		達成度																																													
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠																																								
		③目標事項：																																													
KPI：																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																																							
目標値																																															
実績値																																															
達成度																																															
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠																																										
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																													
		担当課評価																																													
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】																																													
委員会意見	【評価等に対する意見】																																														
	委員会評価																																														

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	政策推進課																																		
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる																																			
基本的方向	関係人口の創出・拡大																																			
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化																																			
事業名	東京事務所運営事業																																			
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】																																			
	東京事務所の運営・調整（東京を拠点とした自治体間の交流促進、イベント開催等）。イベント内容としては、いずみさの特産品フェア（本市の特産品のPR、販売。日本遺産に登録された「日根荘」や関西国際空港のPR）や東京いずみさの会（会員同士のネットワークを形成し、交流を深める）を開催している。																																			
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 東京いずみさの会会員数																																		
		KPI： 5年後に189人																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>117人</td> <td>141人</td> <td>153人</td> <td>165人</td> <td>177人</td> <td>189人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>117人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	117人	141人	153人	165人	177人	189人			実績値	117人						累計	↑	達成度	100%					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	117人	141人	153人	165人	177人		189人																											
		実績値	117人						累計	↑																										
		達成度	100%																																	
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		会員数の増加により、東京での本市への認知度アップにつなげ、ひいては関係人口の増加につながるため。	毎年12人ずつ会員数が増加するように積算																																	
		②目標事項：																																		
		KPI：																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度						
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和3年度	評価（C） 改善（A） 委員会意見	【3年度評価】 担当課評価																																		
		【4年度における取り組みなど】																																		
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性化課
----------	-----	---------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	都市魅力の創出・発信	
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化	
事業名	新たな生活様式推進事業	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	泉佐野市の交通便利性の優位性のある立地を活かし、首都圏等からの企業や人材の誘致するためのサテライトオフィス等の拠点を整備を通じて、関係人口を増加や、地元企業とのマッチングのサポート、ワーケーションの取組等を推進することにより、従来のインバウンドに頼っていた取組から、新たな国内需要にシフトすることで、低迷している地域経済の再生へと導く。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 首都圏等からの人材誘致																																
		KPI： 5年後にのべ2,000人																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>50人</td> <td>100人</td> <td>150人</td> <td>700人</td> <td>1,000人</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	50人	100人	150人	700人	1,000人	↗		実績値	—						達成度	—					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	—	50人	100人	150人	700人		1,000人	↗																								
		実績値	—																															
		達成度	—																															
		KPI設定の根拠	KPI 目標数値の積算根拠 首都圏等からの人材誘致が、この事業の実施により新たにこの地域に呼び込んだ人数となることより、事業評価に直結することと、地域内消費への期待度が向上する観点より一番最適であると考えため	KPI 目標数値の積算根拠 令和5年度を目途に総合産業支援拠点を整備が完了する予定であり、それまでの間は、古民家等を活用した小規模サテライトオフィスの整備に努めるなどの取り組みを推進していくことで、1件当り月2人の誘致を目標とし、年1件ペースで整備を予定しており、その後、令和5年度冬頃を目途に、総合産業支援拠点の整備完了に合わせ、サテライトオフィス拠点を整備することから、他の事例を鑑みて数値を設定した。																														
		②目標事項： 首都圏等からのサテライトオフィス等の誘致件数																																
		KPI： 5年後にのべ20件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	2件	3件	5件	5件	5件	↗		実績値	—						達成度	—					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
目標値	—	2件	3件	5件	5件	5件	↗																											
実績値	—																																	
達成度	—																																	
KPI設定の根拠	KPI 目標数値の積算根拠 首都圏等からの人材誘致が、この事業の実施により新たにこの地域に呼び込んだ人数となることより、事業評価に直結することと、地域内消費への期待度が向上する観点より一番最適であると考えため	KPI 目標数値の積算根拠 令和4年度までは、古民家等を活用した小規模サテライトオフィスの整備支援を行うことから、首都圏等の企業のサテライトオフィスの目標値として、年1件～2件を想定しており、令和5年度夏頃を目途に、総合産業支援拠点の整備完了に合わせ、サテライトオフィス拠点を整備することから、他の事例を鑑みて数値を設定した。																																
③目標事項： ワケーションツーリズム利用者数																																		
KPI： 5年後にのべ300人																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>0人</td> <td>50人</td> <td>70人</td> <td>80人</td> <td>100人</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	0人	50人	70人	80人	100人	↗		実績値	—						達成度	—							
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	—	0人	50人	70人	80人		100人	↗																										
実績値	—																																	
達成度	—																																	
KPI設定の根拠	KPI 目標数値の積算根拠 新たな働き方として注目されているワーケーションを通じて、一定の滞在期間や人数が測定しやすく、地域経済への波及効果が可視化しやすいため	KPI 目標数値の積算根拠 令和3年度はツーリズム造成のため、利用者数は計上していないが、令和4年度以降は、首都圏等からの研修旅行を中心に誘致プロモーションを展開し、1社10名程度を呼び込むことを想定。なお、令和4年度はモニター価格の設定などで利用者につなげる取り組みを想定してKPIを設定。																																

令和 3 年度分	担当課	健康推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	さのっ子ナビ（電子母子手帳）による子育て支援	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	妊娠中の役立つ情報をはじめ、予防接種のスケジュール管理や健診記録など、妊娠から出産、子育てまでの支援を行う。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： さのっ子ナビ（電子母子手帳）の年間出生者数に対する登録者数の比率									
		KPI： 5年後に70%									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	64%	66%	67%	68%	69%	70%	単年度計	↑	
		実績値	64%								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		登録することによって、妊娠中から情報を得たり、出産後は子どもの予防接種の管理などから、成長の記録などにも活用することにより、健康管理への関心度がわかる。					出生者数に対する登録者数の比率を年に1ポイント増加することを目標とした。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	地区福祉委員会活動の支援（ふれあいのまちづくり事業）	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	地域において子育て世帯が孤立することなく、子育てに関する相談や親子の仲間づくりを目的とした子育てサロン活動（地区福祉委員会主催）の支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 子育てサロン実施箇所										
		KPI： 5年後に14か所										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	11か所	11か所	11か所	12か所	13か所				14か所	
		実績値	11か所						単年度計	↑		
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		この数値の把握により、地域での子育て世帯への支援体制の進捗状況がわかる。					市内14地区全ての福祉委員会において、子育てサロンを設置することを目標とする。					
		②目標事項： 子育てサロン開催回数										
		KPI： 5年後に340回/年										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	308回	310回	310回	320回	330回				340回	
		実績値	308回						単年度計	↑		
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
この数値の把握により、地域での子育て世帯への支援活動の進捗状況がわかる。					令和元年度の実績をベースに子育てサロンの実施箇所数の目標値に沿って、令和5年度から毎年10回ずつ子育てサロン開催回数を増加することを目標とする。							
③目標事項：												
KPI：												
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値												
実績値						単年度計						
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】										
		担当課評価										
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】										
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	幼児教育・保育	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	教育または保育を必要とする児童に対し、質の高い教育・保育を行い、待機児童数ゼロを堅持する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 待機児童数																														
		KPI： 毎年待機児童数0を堅持																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3">→</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	単年度計	→		実績値	0人					達成度	100%				
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																			
		目標値	0人	0人	0人	0人	0人		単年度計	→																						
		実績値	0人																													
		達成度	100%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																													
		「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、幼児教育・保育の「量的確保」（待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保等）及び「質の向上」（職員の配置及び処遇改善）を行い、子育て世帯がどこでも必要な時に利用できる子育てしやすい環境整備の指標となります。	待機児童数0を堅持																													
		②目標事項：																														
		KPI：																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																			
		目標値																														
		実績値																														
		達成度																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																													
③目標事項：																																
KPI：																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度							
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
目標値																																
実績値																																
達成度																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																														
		担当課評価																														
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】																														
	委員会意見	【評価等に対する意見】																														
		委員会評価																														

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課																															
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる																																
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実																																
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり																																
事業名	地域における子育て支援サービス																																
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）やファミリーサポートセンター事業など、在宅で保育を行う家庭を含むすべての子育て家庭に対して、利用者のニーズを踏まえながら必要な支援を行う。																																
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域子育て支援事業事業実施回数 KPI： 5年後に398回																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td rowspan="3">→</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>398回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	398回	398回	398回	398回	398回	398回	→		実績値	398回					単年度計	達成度	100%				
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																							
		目標値	398回	398回	398回	398回	398回	398回	→																								
		実績値	398回					単年度計																									
		達成度	100%																														
		KPI設定の根拠	「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、地域子育て支援拠点事業を実施し、乳幼児及び保護者の相互交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言等を行い、子育て支援の充実度を図る指標となります。	KPI目標数値の積算根拠 左記計画の量の見込みでは、提供体制は十分確保となっているため、元年度実績を堅持するとした。																													
		②目標事項： ファミリーサポートセンター事業援助活動件数 KPI： 5年後に3,276件																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3,226件</td> <td>3,236件</td> <td>3,246件</td> <td>3,256件</td> <td>3,266件</td> <td>3,276件</td> <td rowspan="3">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3,226件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3,226件	3,236件	3,246件	3,256件	3,266件	3,276件	↗		実績値	3,226件					単年度計	達成度	100%				
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																							
目標値	3,226件	3,236件	3,246件	3,256件	3,266件	3,276件	↗																										
実績値	3,226件					単年度計																											
達成度	100%																																
KPI設定の根拠	「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、利用を通じ、家庭の中だけでの孤獨な子育てをなくし、地域で子育てを行い、子育て支援の充実度を図る指標となります。	KPI目標数値の積算根拠 左記計画の量の見込みでは、提供体制は十分確保となっているが、更なる利用促進を目標としているため、元年度実績から援助活動件数増加を10件/年とした。																															
③目標事項：	KPI：																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度							
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																									
目標値																																	
実績値																																	
達成度																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																
令和3年度	評価（C） 改善（A） 委員会意見	【3年度評価】 担当課 評価																															
		【4年度における取り組みなど】																															
		【評価等に対する意見】 委員会 評価																															

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	小学校通学支援事業（通学バスの運行（第一小学校・大木小学校））	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	立地的に支援が必要な地域又は山間部に立地の大木小学校について、マイクロバスを借り上げ、子どもたちが安心・安全に学べられるよう、通学の支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 通学バス利用児童数									
		KPI： 令和2年度の通学バス利用児童数（99人）を維持									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	102人	99人	99人	99人	99人				99人
		実績値	102人						単年度計	→	
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、児童及び保護者が安心安全に通学できる手段の一つとして、通学バスの利用を望んでいるのかの指標となると考えるため。					令和2年度の通学バス利用児童数（第一小学校（62名）+大木小学校（37名））を規準に目標値を設定				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
		実績値						単年度計			
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：									
		KPI：									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
目標値											
実績値						単年度計					
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	学校教育の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	ICT活用教育推進事業	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	市内小中学校にPC端末等の環境の整備を行うとともに、教職員がICT機器の特性を理解し、授業において効果的に活用することができる環境をつくることで、子どもたちがよくわかる授業づくりと学力の定着・向上をめざす。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 授業におけるPC端末の月平均利用回数																																				
		KPI： 5年後に、平均20回以上/月																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>16回</td> <td>18回</td> <td>20回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	-	12回	14回	16回	18回	20回			実績値	-						↑		達成度	-							
		現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	-	12回	14回	16回	18回		20回																													
		実績値	-						↑																													
		達成度	-																																			
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
		校内通信ネットワーク環境と1人1台端末の利用状況を把握することで、市内の小中学校におけるICT活用の推進、及び、児童・生徒がわかる授業づくりと学力の定着・向上を図っているかの指標になると考えるため。	令和元年度、教員のICT活用指導力の実態調査における、項目「学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能を児童生徒が身につけることができるよう指導できる」64%、を規準に設定した値																																			
		②目標事項：																																				
		KPI：																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																														
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					

令和3年度	評価(C)	【3年度評価】 担当課評価
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	放課後児童対策事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、遊びや生活の場を提供します。また、健全育成につながる子どもたちが楽しめる学習支援プログラムを実施する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 基準日（5月1日）における留守家庭児童会入会者数																																		
		KPI： 令和2年度の留守家庭児童会入会者数（1192人）まで増加させる																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1,132人</td> <td>976人</td> <td>1,030人</td> <td>1,084人</td> <td>1,138人</td> <td>1,192人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,132人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	1,132人	976人	1,030人	1,084人	1,138人	1,192人	↑		実績値	1,132人						達成度	100%							
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	1,132人	976人	1,030人	1,084人	1,138人		1,192人	↑																										
		実績値	1,132人																																	
		達成度	100%																																	
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		この数値の把握により、保護者が安心して仕事と子育てが両立できるかを示す指標になると考えるため。	令和3年度留守家庭児童会入会者数予測 1192人（R2.5.1）－（987人（R3.1.1）－771人（R2.1.1））＝976人																																	
		②目標事項：																																		
		KPI：																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度						
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	学校教育の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	泉佐野市の未来を創る教育事業	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、重点支援小学校への支援策として「学力向上アドバイザー」を配置するなど、市域全体の学力向上を図る。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 算数）平均正答率の差																																
		KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.1</td> <td>2.9</td> <td>2.7</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">  </td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>193.75%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0	1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	1.6						達成度	193.75%					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0		1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																							
		実績値	1.6																															
		達成度	193.75%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		全国学力・学習状況調査（小学校 算数）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の算数の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国66.6、市65（差1.6） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4は年0.2ずつ差を詰める																															
		②目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 国語）平均正答率の差																																
KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.7</td> <td>3.5</td> <td>3.0</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">  </td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>77.08%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0	1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	4.8						達成度	77.08%							
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0		1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																									
実績値	4.8																																	
達成度	77.08%																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
全国学力・学習状況調査（小学校 国語）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の国語の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国63.8、市59（差4.8） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4も年0.5ずつ差を詰める																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価（C）  改善（A）  委員会意見	【3年度評価】 担当課評価																																
		【4年度における取り組みなど】																																
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	学校教育の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	家庭への支援事業（スクールカウンセラー等による相談）	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図るため、スクールカウンセラーを教育支援センター「さわやかルーム」「シャイン」に1名ずつ、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 中学校不登校生徒数（千人率）											
		KPI： 5年後に令和元年度の全国平均中学校不登校生徒数（千人率）39.4人を下回らせる											
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
		目標値	46.7人	45.0人	43.5人	42.0人	40.5人	39.0人	単年度計	↑			
		実績値	46.7人										
		達成度	100%										
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
		令和元年度、本市の中学校不登校生徒数（千人率）は、46.7人。大阪府平均は、40.5人。全国平均は、39.4人。本市の中学校不登校生徒数は非常に多い状況にある。そのため、本事業を進め、5年後、令和元年度の全国平均を下回れるように目標を設定する。					令和元年度、中学校不登校生徒数（千人率）本市：46.7人 大阪府：40.5人 全国：39.4人 毎年、千人率で1.5人ずつ不登校を減少させる。						
		②目標事項： 小学校不登校児童数（千人率）											
		KPI： 5年後に令和元年度の大阪府平均小学校不登校児童数（千人率）7.9人を下回らせる											
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
		目標値	8.4人	8.3人	8.2人	8.1人	8.0人	7.8人	単年度計	↑			
実績値	8.4人												
達成度	100%												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠								
令和元年度、本市の小学校不登校児童数（千人率）は、8.4人。大阪府平均は、7.9人。全国平均は、8.3人。本市の中学校不登校児童数は多い状況にある。そのため、本事業を進め、5年後、令和元年度の府平均を下回れるように目標を設定する。					令和元年度、小学校不登校児童数（千人率）本市：8.4人 大阪府：7.9人 全国：8.3人 毎年、千人率で0.1人ずつ不登校を減少させる。								
③目標事項：													
KPI：													
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考					
目標値							単年度計						
実績値													
達成度													
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠								
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価											
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】											
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	生涯学習課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	生涯学習の推進	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	地域の情報拠点としての図書館機能の充実	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 様々なイベントを企画し魅力ある図書館運営に努めていくと同時に、図書館本来の目的として、地域住民に求められる資料の充実と資料を必要とする人への的確に提供できるように努めていきます。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 図書館蔵書冊数																																
		KPI： 5年後に500,000冊																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>473,000冊</td> <td>482,000冊</td> <td>486,500冊</td> <td>491,000冊</td> <td>495,500冊</td> <td>500,000冊</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>472,219冊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊	500,000冊	↑		実績値	472,219冊						達成度	99.8%					
		現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊		500,000冊	↑																								
		実績値	472,219冊																															
		達成度	99.8%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		この数値の把握により、地域の情報拠点として、図書館が提供可能で、かつ、市民が求める資料・情報の収集が進んでいるか、図書館機能の充実に努めているかの指標となります。		令和元年度の実績値から起算した毎年4,500冊ずつ増加を目標として設定した結果の値																														
		②目標事項： 年間個人貸出点数																																
KPI： 5年後に353,300点																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>347,000点</td> <td>326,400点</td> <td>333,000点</td> <td>339,600点</td> <td>346,400点</td> <td>353,300点</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>346,061点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点	353,300点	↑		実績値	346,061点						達成度	99.7%							
現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点		353,300点	↑																										
実績値	346,061点																																	
達成度	99.7%																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているのかの指標となります。		現在のコロナ禍での図書館利用の減少を考慮し、令和元年度の実績値より低い目標値から、毎年2%前後の増加を目標として設定した結果の値																																
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】 担当課 評価																																
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】																																
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課										
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる											
基本的方向	学校教育の充実											
具体的施策	③国際交流の推進											
事業名	国際理解教育の充実（英語教育の充実、国際交流）											
事業概要	【最終予算額：円】   【決算額：円】											
	自国の歴史や文化・伝統に誇りを持ち、諸外国の異なる文化や習慣等について理解を深め、互いに違いを認め合い、共に生きていく力や自分の意思を表現できる基礎的な能力を育成するため、海外派遣や文化交流を推進する。											
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 海外研修派遣人数										
		KPI： 5年間で80人										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	20人	-	20人	20人	20人	20人	→			
		実績値	20人									
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		この数値の把握により、英語レッスンや学校訪問、ホームステイなどを通して、外国の言葉と文化に触れ、人々とふれあう中で国際理解を深めているかの指標になると考えるため。					令和元年度の海外研修派遣人数を規準に目標値を設定					
		②目標事項： 小中学校における文化交流事業数										
		KPI： 5年間で90回										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	18回	18回	18回	18回	18回	18回	→			
		実績値	18回									
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
この数値の把握により、市内小・中学校における国際理解・多文化共生教育の推進が図られているかの指標になると考えるため。					令和元年度の小中学校における文化交流事業数を規準に目標値を設定							
③目標事項：												
KPI：												
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
【3年度評価】												
令和3年度	評価（C）	担当課評価										
		改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		委員会意見	【評価等に対する意見】									
委員会評価												

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	人権推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	男女共同参画社会づくりの推進	
具体的施策	④仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の啓発	
事業名	ワーク・ライフ・バランスの実現	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	結婚・出産・子育て・介護などに前向きなイメージを育めるよう、情報提供をはじめ関係機関と連携を図りながら多面的な支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： ワーク・ライフ・バランスの啓発事業実施回数									
		KPI： 5年間で30回									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	4回	6回	12回	18回	24回	30回	累計	→	累計
		実績値	6回								
		達成度	150%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		啓発事業のうちワーク・ライフ・バランスをテーマにした講座の開催比率を高めることにより、市民への啓発の取組み状況がわかる。					年間に実施する啓発講座の約50%。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課 評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	委員会 評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	⑤出合い・結婚の支援	
事業名	泉佐野市結婚新生活支援事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	結婚の希望を叶えるために、新婚世代の住居費及び引越し費用を支援することにより、結婚に伴う経済的不安を軽減する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 結婚新生活支援事業補助金交付件数									
		KPI： 5年間で30件									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	12件	26件	27件	28件	29件	30件	累計	↑	
		実績値	12件								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		事業の目的である新婚世帯への経済的不安の軽減の達成度について、補助金の交付件数により測る。					政府の動向や実績値から令和3年度の予算要求時の件数を基にし、毎年1件ずつの増加とする。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課																																
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる																																	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実																																	
具体的施策	⑤出会い・結婚の支援																																	
事業名	婚活イベント等の共催・後援など（出会いの機会創出事業）																																	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】																																	
	結婚を希望する若い世代を対象とした婚活等のイベント開催、または関係団体等が開催するイベントとの共催や後援を行い、出会いの場を提供する。																																	
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 婚活等イベント参加者の満足度																																
		KPI： 5年後に80%																																
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>75%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>75%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	75%	80%	80%	80%	80%	単年度計	↗		実績値	75%					達成度	100%						
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	75%	80%	80%	80%	80%		単年度計	↗																								
		実績値	75%																															
		達成度	100%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		趣旨に沿った開催内容であったかを、参加者の満足度によって測る。		参加者のアンケートの満足度の平均値																														
		②目標事項：																																
		KPI：																																
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度							
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値																																
		実績値																																
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度									
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																
		担当課評価																																
		改善（A）																																
		【4年度における取り組みなど】																																
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	道路公園課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	①交通ネットワークの整備
事業名	コミュニティバス無料化事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 地域の生活拠点を運行するコミュニティバスの無料化を継続することで、地域の公共交通網による移動手段の維持・確保を図り、交通弱者が容易に移動でき、社会参加等を促進するとともに、通勤・通学等の経費減による転入促進を図ります。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： コミュニティバスの年間利用者数（人）									
		KPI： 5年後に205,000人									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	180,147人	183,000人	188,000人	200,000人	202,000人	205,000人	単年度計	↑	
		実績値	180,147人								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		運賃無料のコミュニティバスの利用向上は、高齢者や子育て世代の安全な移動支援や、通勤・通学・通院経費の軽減による住みやすさの向上、定住・転入促進につながると考え設定の根拠とした。					高齢化の進捗を背景に、運賃無料の経済的な移動手段として、子育て世代等からの需要増も含む、毎年平均3%の増加を積算根拠とした。				
		②目標事項： 観光周遊バスの年間利用者数（人）									
		KPI： 5年後に10,000人									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	7,627人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人	10,000人	単年度計	↑	
		実績値	7,627人								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
運賃無料の観光周遊バスの利用向上は、国内外からの観光客の周遊性を高めることで、地域経済の拡大に連動すると考え設定の根拠とした。					日祝のみの運行であるも、運賃無料の継続化とともに、利便性・周遊性を高めるなどの利用促進を図り、毎年平均5%の利用増加を積算根拠とした。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	自治振興課（危機管理室）
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	泉佐野市大防災訓練	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	11月第一日曜日の「市民防災の日」に市域全体で地域の自主防災組織を主体とした大防災訓練を実施する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災訓練参加人数									
		KPI： 5年後に5,000人（700人の増加）									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	4,300人	4,500人	4,600人	4,700人	4,800人				5,000人
		実績値	4,300人						累計	↑	なし
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		防災訓練参加人数の増加から、地域を主体とした訓練の進展度を測ることができるため。					例年の増加割合を踏まえて合理的な目標値を算出したもの。				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課 評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	委員会 評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	自治振興課（危機管理室）
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	地域防災の担い手の確保	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	災害等に関する正確な知識を取得し、地域における防災・減災リーダーの育成を図るため、防災士資格取得研修を実施する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災士の資格取得人数（累計）									
		KPI： 5年後に486人									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	366人	406人	426人	446人	466人				486人
		実績値	366人						累計	↑	なし
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		防災士資格取得者数を、地域防災の担い手の育成状況を測る指標とする。					受講者が例年同水準にて推移していることから、毎年度20人増加する目標値を設定。				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分		担当課	自治振興課（危機管理室）・地域共生推進課								
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する										
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり										
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保										
事業名	地域の絆づくり登録制度										
事業概要	【最終予算額： 円】				【決算額： 円】						
	災害時の避難に不安がある方（避難行動要支援者）に、あらかじめ市に登録していただき、地域の支援団体（自主防災組織）や関係機関（警察・消防・社会福祉協議会〈左記3機関とは協定締結済〉）とその情報を共有し、平常時の見守りや災害が発生したときの避難支援活動、安否確認に役立てる。 対象者の抽出、登録届出書兼同意書の送付及び同意者の登録を地域共生推進課にて行い、登録情報の提供に関する協定の締結と各機関への避難行動要支援者名簿の提供事務を自治振興課危機管理室が行う。また、発災時には迅速かつ適切な避難支援活動を実施する必要があることから、個別計画の作成を支援団体は名簿をもとに社会福祉協議会と連携して作成する。										
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 避難行動要支援対象者の同意・不同意確認者数割合									
		KPI： 5年後に72.0%									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	67.7%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%	72.0%	累計	→	なし
		実績値	67.7%								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
		市・社協及び自主防災組織が連携し、当事業の更なる周知を図り、入れ替わりの激しい避難行動要支援者となり得る者の意思確認をいかに進めていけるかの指標となる。				過去の増加率が横ばいのため、合理的に算出した結果					
		②目標事項： 自主防災組織との協定締結率									
		KPI： 5年後に100%									
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	54.5%	70.1%	77.9%	85.7%	93.5%	100%	累計	↗	なし
		実績値	54.5%								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
地域における災害時の避難支援活動、安否確認に役立てる名簿の提供状況を把握することにより取り組みの進捗を確認する。				令和3年度から令和7年度までの5カ年で市内自主防災組織との協定締結を完了することを目標として設定した値							
③目標事項：											
KPI：											
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保
事業名	防災教育の充実（被災地訪問、ジュニア防災検定）
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 児童・生徒の防災意識の向上を図るため、「被災地訪問事業」の実施や、小学4年生児童対象に「ジュニア防災検定」に参加する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 被災地訪問派遣人数										
		KPI： 5年間で120人										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	35人	-	30人	60人	90人	120人	累計	→		
		実績値	35人									
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		この数値の把握により、被災地の見学や被災当時の話を聞くことなどを通して、防災意識の向上をめざした防災教育の充実が図られているかの指標になると考えるため。					令和元年度の被災地訪問派遣人数を規準に設定した値 今後、被災地とのリモート交流の実施も検討					
		②目標事項： ジュニア防災検定受検者数										
		KPI： 5年間で3700人										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	806人	840人	1590人	2300人	3000人	3700人	累計	→		
		実績値	806人									
		達成度	100%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
この数値の把握により、子どもたちが日常から防災と減災に関心をもち、意識を高め、考え判断し行動できる防災力を高めているかの指標になると考えるため。					令和元年度のジュニア防災検定受検者数と、令和3年以降の小学4年生の見込児童数を規準に設定した値							
③目標事項：												
KPI：												
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】										
		担当課評価										
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】										
委員会意見	【評価等に対する意見】											
	委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	環境衛生課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	都市基盤の再構築	
具体的施策	③エネルギーの地産地消	
事業名	泉佐野電力及び泉佐野ガスの運営	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	一般財団法人泉佐野電力、及びその1子会社である一般財団法人泉佐野ガスの運営を通して、公共施設等に電力及びガスを供給。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 調達電力に対する再生可能エネルギーの割合									
		KPI： 5年後に50%									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	22%	32%	37%	42%	47%	50%	累計	↑	
		実績値	22%								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		全調達電力に関する再生可能エネルギーの割合。温室効果ガスの排出削減に関する取り組みの進捗状況を示す指標となります。 令和元年度実績(経営状況報告書より) 全調達電力：15,971.212kWh 再生可能エネルギー：3,624,548kWh					令和元年度実績を基準に、毎年度5%の増加、最終的に50%達成を目標とする。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：									
		KPI：									
			現状値(元年度)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価									
令和3年度	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	健康推進課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	④高齢者の健康づくり	
事業名	健康マイレージ事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診など、健康づくりへの取組みに対し、泉佐野地域ポイント（さのぼ）の付与を行い、健康づくりへの積極的な参加促進を図ることを目標にしている。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 健康マイレージの参加者数										
		KPI： 年5%の参加者の増加を目標とする										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	208人	294人	309人	324人	340人				357人	
		実績値	352人						単年度計	↑		
		達成度	169.23%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		健康マイレージの交換者数により、健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診率の向上など、健康づくりへの関心度がわかる。					R元年度に総合計画の目標を達成したため、改めて目標値を見直し、R2年度に下がった見込数値（280人）から年間5%（H26～R元年度の対前年比平均）の参加者数の増を目標とした。					
		②目標事項：										
		KPI：										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値										
		実績値										
		達成度										
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		③目標事項：										
		KPI：										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】										
		担当課評価										
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】										
委員会意見	【評価等に対する意見】											
	委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	④高齢者の健康づくり	
事業名	介護予防事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 要介護状態への予防のための運動機能向上プログラムを実施するロコトシ教室等や、カラオケ機器を利用した介護予防プログラムの実践にて、介護予防・認知症予防・健康づくりに取り組むとともに、地域住民の生きがいの場を広げ、コミュニティの創出と活性化を図る音楽介護予防教室（泉佐野元気塾）により、高齢者が自立した日常生活を営むことを図る。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 音楽介護予防教室参加者数									
		KPI： 5年後に10,400人									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	10,412人	9,350人	9,600人	10,000人	10,200人	10,400人	単年度計	↑	
		実績値	10,412人								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		健康づくり（介護予防）に取り組む地域の拠点としての役割が大きい事業であり、参加者数を把握することで、市民の介護予防意識の向上の状況がわかる。					コロナ禍で元気塾開催を見合わせている状況を考慮し、令和元年度の実績値より低い目標値から、毎年2%前後の増加を目標とした。				
		②目標事項： ロコトシ教室参加者数									
		KPI： 5年後に40人									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	12人	20人	25人	30人	35人	40人	単年度計	↑	
実績値	12人										
達成度	100%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
介護予防及び地域での自立した日常生活支援を目的に実施している事業であり、参加者数を把握することで、市民の運動機能向上の取組み状況がわかる。					令和元年度の実績をベースに、毎年5名ずつ増加することを目標とした。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課 評価	
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	自治振興課										
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する											
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり											
具体的施策	⑤地域づくり											
事業名	防犯推進事業											
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】											
	地域の街頭犯罪等を未然に防止するため、町会等が、自ら管理するLED式防犯灯を整備（新設及び蛍光灯式からLED式への更新）する事業に対し補助金を交付することにより、地域住民の自主防犯意識の高揚に寄与することを目的とする事業。											
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防犯灯のLED化率										
		KPI： 5年後に100%										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	60%	80%	90%	100%	100%	100%	累計 ↑			
		実績値	63.1%									
		達成度	105.17%									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		町会等によるLED式防犯灯整備事業の成果を測る指標である。					町会等が管理・整備する全ての防犯灯のLED化率100%を早期に達成するため、年間10%程度の向上を目標とする。					
		②目標事項：										
		KPI：										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値										
		実績値										
		達成度										
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		③目標事項：										
		KPI：										
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考		
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】										
		担当課 評価										
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】										
委員会意見	【評価等に対する意見】											
	委員会 評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	自治振興課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑤地域づくり	
事業名	町会連合会の加入促進事業への補助金	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	町会連合会が主体的に実施する加入促進事業のうち、町会連合会を構成する町会等が、その加入世帯に配布する町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）を調達（製作・保管・配送）する事業に対し補助金を交付することにより、加入率向上に寄与することを目的とする事業。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 町会加入率									
		KPI： 5年後に67%									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	61%	63%	64%	65%	66%	67%	累計	↑	
		実績値	58.7%								
		達成度	96.23%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		町会連合会による加入促進事業の成果を測る指標である。					近年、単身世帯の増加等を要因として、町会加入率は下落傾向にあるが、補助金の交付その他の支援を継続することにより、毎年1%程度の向上を期待するもの。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
----------	-----	---------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤地域づくり
事業名	認知症支援事業
事業概要	<p>【最終予算額： 円】 【決算額： 円】</p> <p>超高齢化社会において、認知症高齢者が急増しているが、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人の意思が尊重され、認知症の人が認知症と共によりよく生きていけるよう、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指します。具体的には、認知症支援推進員を中心に、認知症サポーター養成講座の開催等による地域での認知症への意識啓発活動や、本人・家族支援、予防活動等、認知症にやさしい地域づくり等に努める事業。</p>

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 認知症サポーター養成講座																																
		KPI： 5年後に9,500人																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>6,913人</td> <td>7,500人</td> <td>8,000人</td> <td>8,500人</td> <td>9,000人</td> <td>9,500人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>6,913人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	6,913人	7,500人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人	累計	↑	実績値	6,913人						達成度	100%					
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	6,913人	7,500人	8,000人	8,500人	9,000人		9,500人	累計	↑																							
		実績値	6,913人																															
		達成度	100%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		この数値を把握することで、市民の認知症に対する正しい知識と理解の向上の進捗状況がわかる。	令和元年度の実績をベースに、毎年500人を対象に養成講座を実施することを目標として設定した。																															
		②目標事項：																																
		KPI：																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度						
		現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値																																
		実績値																																
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（元年度）</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																
		担当課評価																																
改善（A）	委員会意見	【4年度における取り組みなど】																																
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑤地域づくり	
事業名	地区福祉委員会活動の支援（ふれあいのまちづくり事業）【再掲】	
事業概要	【最終予算額： 円】   【決算額： 円】	
	地区福祉委員会が主催する高齢者や障害者等への見守り訪問活動【個別支援活動】や孤立防止や地域での仲間づくり、介護予防等の目的で開催する交流会や高齢者サロン活動【グループ支援活動】の支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 個別支援活動実施世帯数									
		KPI： 5年後に2,160世帯/年									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	2,116世帯/年	2,120世帯/年	2,130世帯/年	2,140世帯/年	2,150世帯/年	2,160世帯/年	単年度計	↑	
		実績値	2,116世帯/年								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		各地区福祉委員会において実施している個別支援活動の実施世帯数を把握することで、要援護者への支援活動の進捗状況がわかる。					コロナ禍で個別支援活動を一部制限している状況を考慮し、令和元年度の実績値をベースに、毎年10世帯ずつ増加させることを目標とした。				
		②目標事項： グループ支援活動回数									
		KPI： 5年後に2,800回/年									
			現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	2,761回/年	2,760回/年	2,770回/年	2,780回/年	2,790回/年	2,800回/年	単年度計	↑	
		実績値	2,761回/年								
		達成度	100%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
各地区福祉委員会において実施しているいきいきサロンや世代間交流会などのグループ支援活動の回数を把握することで、地域住民同士がつながりを持つことができる機会の進捗や、支援体制の広がりがわかる。					コロナ禍でグループ支援活動の開催を見合わせている状況を考慮し、令和元年度の実績値をベースに、毎年10回増加させることを目標とした。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（元年度）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C） 改善（A） 委員会意見	【3年度評価】									
		担当課評価									
【4年度における取り組みなど】											
【評価等に対する意見】											
委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	スマートシティの推進
具体的施策	⑥行政・地域のデジタル化
事業名	キャッシュレスや地域通貨の活用推進
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 官民連携による地域ポイント「さのぼ」を通じて、地域外への経済流出を防ぐこと、及び新たな地域内経済への流入を増やすことで、地域内経済循環を高めることで、自立した地域経済の活性化を図るもの

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域内消費額									
		KPI： 5年後に30億円									
		現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	10億円	20億円	22億円	25億円	27億円	30億円			
		実績値	13.3億円						単年度計	↑	
		達成度	133%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		地域内消費額が当該事業の評価に直結するものと考えるため					過去の伸び率を参考に目標値を設定				
		②目標事項： カード会員数									
		KPI： 5年後に45,000人									
現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	30,000人	35,000人	37,000人	40,000人	43,000人	45,000人					
実績値	25,799人						累計	↑			
達成度	116%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
利用者数が当該事業の効果性の評価に直結するものと考えているため					最終目標を人口の概ね50%と設定し、5年間で割り戻した数値を各年度で設定						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（元年度）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価									
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。